

1. 授業の概要(ねらい)

ジャーナリズム(メディアによる社会問題の報道、解説、論評)の内容分析を行う実習形式の授業である。ジャーナリズムもまたコミュニケーション活動の一種であるので、コミュニケーション分析の手法により分析を行うことができる。本授業で取り扱う「内容分析」とはそうしたコミュニケーション分析の一つであり、その目的は多岐にわたるが、その一つに「社会で共有されている信念や価値観を分析する」というものがある。これは社会学科の学生にとっても重要な目的であろう。

本授業では、そうした分析を行うための基礎を習得するため、内容分析について解説する講義を行いつつ、実際に基礎的な実習として分析を行っていく。

2. 授業の到達目標

卒業レポート・論文の執筆に必要なジャーナリズムの分析のための能力を身に着けること。そのために、新聞記事を定期的に考察し、自らが選択した事例について解説記事、ならびに解説レポートを執筆できるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

報告を含む平常点(70%)、期末レポート(30%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

藤田真文編 『メディアの卒論 2版』 ミネルヴァ書房、2016年

藤田真文・岡井崇之編 『プロセスが見えるメディア分析入門』 世界思想社、2016年

5. 準備学修の内容

授業外のメディア分析、発表のための準備、および復習。

6. その他履修上の注意事項

欠席・遅刻をしないこと。また講義中、他者の権利を侵害したとみなされる学生に対しては退出を命じることもあるので留意するように。

初回の授業に必ず出席すること。2回目以降から出席する学生の履修は原則として認めない。

7. 授業内容

- 【第1回】 「ジャーナリズム実習基礎」に関して。自己分析レポート(履修者全員)。
- 【第2回】 コミュニケーション分析の基本単位。
- 【第3回】 メディアに関するレポート作成のために必要な文献・資料探しについて(1):新聞を分析することの意味。
- 【第4回】 メディアに関するレポート作成のために必要な文献・資料探しについて(2):データベースの使用について。
- 【第5回】 新聞資料をもとにした内容分析(1)
- 【第6回】 新聞資料をもとにした内容分析(2)
- 【第7回】 新聞記事分析の報告と講評(1)
- 【第8回】 新聞記事分析の報告と講評(2)
- 【第9回】 新聞記事分析の報告と講評(3)
- 【第10回】 新聞記事分析の報告と講評(4)
- 【第11回】 新聞記事分析の報告と講評(5)
- 【第12回】 新聞記事分析の報告と講評(6)
- 【第13回】 新聞記事分析の報告と講評(7)
- 【第14回】 新聞記事分析の報告と講評(8)
- 【第15回】 総括(まとめレポートの作成)